

2026年2月24日

ハレックス、主要サービスを「新たな防災気象情報」に全対応 － 2026年5月の運用開始対応に向けた支援体制を強化 －

株式会社ハレックス(本社:東京都、代表取締役社長:藤岡浩之、以下ハレックス)は、気象庁が2026年5月下旬に予定している「新たな防災気象情報」の運用開始に合わせ、主要サービス HalexForesight!、HalexSmart!、HalexDream! などの各機能を新体系に準拠した形で順次アップデートします。

今回の運用改定では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の情報が5段階の警戒レベルへ整理され、より分かりやすい運用となります。当社ではこれらの変更に対していち早く準備を進めており、防災対応を行う現場の皆さまが、新たな防災情報をよりスムーズにする環境づくりを図っています。

また、新たな防災気象情報のポイントを解説したオンラインセミナーを公開しているほか、無料トライアルや個別説明会(オンライン/対面)にも対応しています。

【背景】

新たな防災気象情報は、気象庁が2025年12月に概要を公表したもので、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮に関する情報を5段階の警戒レベルに整理し、名称も統一することで分かりやすさと行動のしやすさを高める大規模な見直しです。従来は警報・注意報と警戒レベルの対応が複雑でしたが、今回の整理により、避難判断がより直感的に行える運用へと改善されます。

新たな防災気象情報について(令和8年～)

令和8年5月下旬(予定)より
気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 注意警報	レベル3 大雨注意	レベル3 土砂災害注意	レベル3 高潮注意
警戒レベル2	レベル2 注意注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

図1) 令和8年5月下旬(予定)から変更される新たな防災気象情報の体系(警戒レベルとの対応)

出典: 気象庁 HP 新たな防災気象情報について(令和8年～)

【当社の対応方針】

新たな防災気象情報の仕様に合わせ、HalexForesight!、HalexSmart!、HalexDream! をはじめとする当社主要

サービス各機能をアップデートし、防災対応を行う現場の皆さまが、新たな防災情報活用をより円滑に利用できる環境づくりを行います。

詳細な機能改修内容や導入のご相談については、お問い合わせ窓口までお気軽にご連絡ください。

■ HalexForesight!

HalexForesight! は、気象災害リスクを“見える化・予測・通知”の3つで支援する、防災・BCP向けの気象災害リスクモニタリングシステムです。

大雨・土砂災害・洪水・台風・雷など、さまざまな自然災害の危険度を地図と時系列でわかりやすく表示し、リスクの高まりに応じてアラート通知することで、迅速な意思決定をサポートします。

→ 詳細：<https://www.halex.co.jp/weather-risk-foresight.html>

■ HalexSmart!

HalexSmart!は、地理情報システム(GIS : Geographic Information System)上での気象データの活用に適した気象データ API サービスです。地図上に取り込みやすいタイル形式または GeoJSON 形式で気象データを提供するため、GIS の活用領域が大きく広がります。

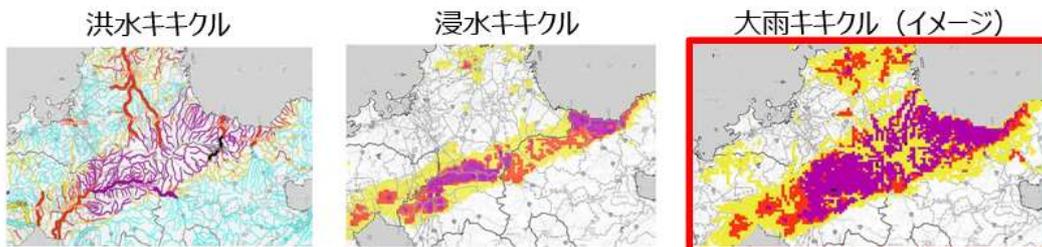
→ 詳細：<https://www.halex.co.jp/service/smart.html>

■ HalexDream!

HalexDream!は、全国 1 kmメッシュ(約 40 万メッシュ)の気象データを、緯度・経度を指定してご利用いただけるサービスです。

API やファイル形式で、地域特性や実測値を反映した独自の加工を施した気象データを提供し、天気予報や需要予測など、気象データを活用した意思決定や業務の高度化を支援します。

→ 詳細：<https://www.halex.co.jp/service/dreamapi-weather-api.html>



■大雨キキクル：洪水キキクルと浸水キキクルを重ね合わせ表示
→新たに用意

図2)洪水キキクルと浸水キキクルを統合した「大雨キキクル(イメージ)」の表示例

【当社の支援体制】

● オンラインセミナー(2026.1ver)アーカイブ公開

新運用のポイントを当社気象予報士が分かりやすく解説しています。



https://www.halex.co.jp/event_info.html#20260126-20260331

- **無料トライアルの提供**

HalexForesight!、HalexSmart!、HalexDream! をお試しご利用いただけます。

- **個別説明会の実施(オンライン/対面)**

お客様のご利用状況に応じた導入・運用相談に対応します。

※お問い合わせ

各種トライアルのお申し込み、セミナー内容に関するご質問、導入相談などは、以下のお問い合わせフォームよりお気軽にご連絡ください。

<https://www.halex.co.jp/inq/all.html>

【ご参考:新たな防災気象情報について】

1. 主な変更内容

- **情報名称が警戒レベルと統一**

大雨・洪水・土砂災害・高潮の各情報にレベル 1～5 が付与され、名称体系が統一されます。

- **「警戒レベル 4 相当」の情報が“危険警報”として明確化**

レベル 4 に相当する情報が統一名称で整理され、自治体が避難情報を判断しやすくなります。

- **河川氾濫の情報体系を再整理**

洪水予報河川では河川ごとの警報体系に移行し、水位周知河川・中小河川は大雨浸水の情報に一本化されます。

- **土砂災害の発表基準を統一**

「土壌雨量指数+60 分雨量」に一本化され、精度向上により過度な警戒の発表を抑えられることが期待されます。

- **高潮情報の高度化**

潮位予測に加え“波の打上げ高”を考慮した新しい予報体系を導入し、レベル 5 特別警報として整理されます。

2. 期待される効果

- **自治体・企業防災担当者向けの効果**

警戒レベルに紐づいた気象情報が発表されることによって、迅速かつ的確な避難行動への判断が可能となります。また、発表タイミングの見直しに伴い、従来課題となっていた“空振り”の減少による現場負荷軽減も期待されます。ただし、土砂災害については注意点もありますので、特性を良く把握する必要があります。

- **住民・利用者向けの効果**

警戒レベル付与により危険度を直感的に把握でき、迅速な避難行動につながります。情報の一貫性が高まること

で、災害時の混乱を抑え、行動判断の後押しとなります。

詳細は気象庁 HP をご確認ください。

【会社概要】

会社名:株式会社ハレックス

代表者:代表取締役社長 藤岡 浩之

本社所在地:東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 3 階

設立:1993 年

URL:<https://www.halex.co.jp/>

*HalexForesight!・HalexSmart!・HalexDream!は、株式会社ハレックスの登録商標です。

*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社ハレックス 企画部総務課 担当:山田 yamadatya@halex.co.jp Tel:03-5420-4311</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社ハレックス ビジネスソリューション事業部 営業部 info_weather278@halex.jp Tel:03-5420-4311</p>
---	--